

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 29 年 1 月 12 日 (2017.1.12)

【公開番号】特開 2016-106147 (P2016-106147A)

【公開日】平成 28 年 6 月 16 日 (2016.6.16)

【年通号数】公開・登録公報 2016-036

【出願番号】特願 2016-49456 (P2016-49456)

【国際特許分類】

C 07K 16/40 (2006.01)

C 07K 16/46 (2006.01)

C 12N 15/09 (2006.01)

C 12N 1/15 (2006.01)

C 12N 1/19 (2006.01)

C 12N 1/21 (2006.01)

C 12N 5/10 (2006.01)

A 61K 39/395 (2006.01)

A 61K 48/00 (2006.01)

A 61K 35/12 (2015.01)

A 61P 43/00 (2006.01)

G 01N 33/573 (2006.01)

【F I】

C 07K 16/40 Z N A

C 07K 16/46

C 12N 15/00 A

C 12N 1/15

C 12N 1/19

C 12N 1/21

C 12N 5/10

A 61K 39/395 D

A 61K 39/395 N

A 61K 48/00

A 61K 35/12

A 61P 43/00 1 1 1

G 01N 33/573 A

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 11 月 25 日 (2016.11.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

軽鎖可変 (V L) 領域を含む単離された抗 M M P 9 抗体またはその抗原結合断片であって、該軽鎖可変領域は、配列番号 4 2 に記載のアミノ酸配列を含む C D R 1、配列番号 4 3 に記載のアミノ酸配列を含む C D R 2、および配列番号 4 4 に記載のアミノ酸配列を含む C D R 3 を含む、単離された抗体またはその抗原結合断片。

【請求項 2】

前記軽鎖可変領域が、配列番号 4 1 に記載のアミノ酸配列を含む、請求項 1 に記載の単離された抗体またはその抗原結合断片。

**【請求項 3】**

試料中でヒト MMP 9 を検出するインビトロの方法であって、

該試料中での、請求項 1 に記載の単離された抗体またはその抗原結合断片のヒト MMP 9 との結合を検出し、それにより、該ヒト MMP 9 の存在を検出するステップを含み、該試料は、該単離された抗体またはその抗原結合断片とインビトロで接触されることを特徴とする、方法。

**【請求項 4】**

前記試料において検出された結合の量を、対照試料との結合の量と比較するステップをさらに含む、請求項 3 に記載の方法。

**【請求項 5】**

前記試料が、被験体由来の組織または体液試料である、請求項 3 に記載の方法。

**【請求項 6】**

前記体液試料が、血液、血漿、血清、全血、唾液、尿、または精液試料である、請求項 5 に記載の方法。

**【請求項 7】**

前記組織試料が、ホルマリン固定試料または凍結試料である、請求項 5 に記載の方法。

**【請求項 8】**

前記単離された抗体またはその抗原結合断片が、検出可能部分を用いて標識化される、請求項 3 に記載の方法。